

## 2 種まき(4~5月)・苗植え(5~6月頃)

ゴーヤは十分に暖かくなってからでないと発芽しにくいので、4月の終わりから5月の連休明け頃に種まきするようにします。

種まきの前に、種は一晩水につけておきます。(ゴーヤの種は、水につけるまえにとがった先を爪切りなどで中の胚を傷つけないようカットします。)

ビニールポットに種を2、3粒まき、1cmぐらい土をかぶせます。表面が乾かないように水やりをします。本葉が2~3枚になったら、一番茎が太い苗を1本だけ残し、他を摘み取ります。本葉が3~4枚になったら、根元の土を崩さないようにポットからそっと出して、プランターに植えかえます。



ゴーヤの苗は50cm間隔(ふうせんかすらや朝顔は20cm間隔)ぐらいで植えつけます。植えつけた後は、水をたっぷりあげてください。

実施日: 月 日( )  
天気: 気温:  
コメント:

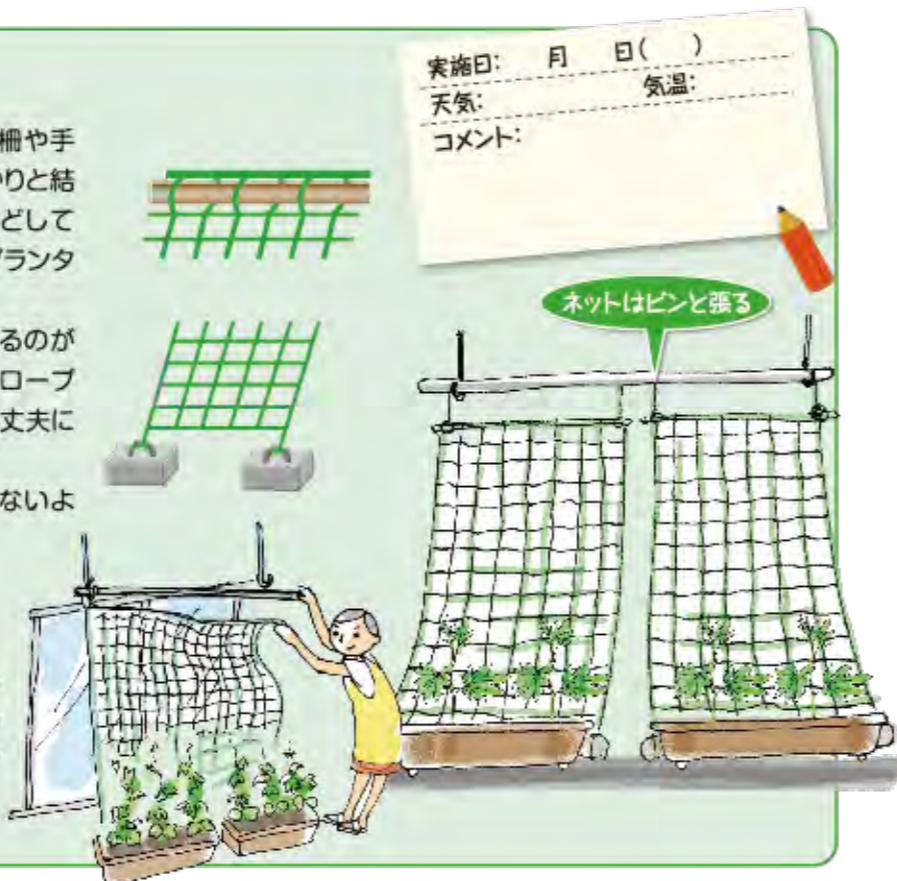
## 3 ネット張り(6月頃)

ネットの上部は、階上のベランダの柵や手すり、軒先につけたフックなどにしっかりと結びつけましょう。下部は、杭を打つなどして固定するか、コンクリートブロックやプランターを重しにして結びつけます。

ネットは、ゆれないようにピンと張るのがポイントです。ネットの両端や中央にロープや支柱を通し、その上下で固定すると丈夫になります。

台風や強風で外れたり倒れたりしないよう、しっかりと設置しましょう。安全には注意してください。

※マンションで設置する際には、手すりではなく、サッシ側に設置します。天井またはサッシ枠にネットを固定するためのフックを設置場所の状況に応じて使用します。



実施日: 月 日( )  
天気: 気温:  
コメント:

## 4 水やり

苗が小さいうちは、1日1回、朝か夕方に水やりをします。大きく育ってきたら、朝・夕2回、たっぷりプランターの底から流れ出るぐらいに水をあげましょう。

朝・夕  
2回

実施日: 月 日( )  
天気: 気温:  
コメント:

## 5 ツルの誘引

ツルと葉がネット全体を覆うように、ツルを誘引しましょう。

ひもや園芸用のテープ・結束タイで、ツルをネットにゆるく結びつけ、横へ横へと導きます。

また、本葉が5~6枚ほどに育ってきたら、親ツルの先端の芽の部分(摘心)を2~3cmカットします(摘心といいます)。そうすると、下から小ツル、孫ツルが出てきます。小ツル、孫ツルも、横に誘引するとよいでしょう。



葉を茂らせるのに大事です!



実施日: 月 日( )  
天気: 気温:  
コメント:

## 6 追肥

ツルが伸び、大きく育ってくると、多くの養分が必要になります。このため、植え付けから3~4週間後、株元を避けて追肥します。

その後も、実がなりだした頃から2週間に1回ぐらい、定期的に追肥しましょう。液体肥料の場合は、即効性がありますが効果が続かないため、1週間に1回ぐらい追肥してください。肥料の与えすぎには注意しましょう。



実施日: 月 日( ) 天気: 気温:  
実施日: 月 日( ) 天気: 気温:  
実施日: 月 日( ) 天気: 気温:  
実施日: 月 日( ) 天気: 気温:  
コメント:

## 7 収穫・種取り(7~9月)

ゴーヤには雄花と雌花があり、雄花にある雄しべを雌花にある雌しべに押しつけて授粉させると効果的です。

雄花は1日ほどで散ってしまうので、階下や隣戸に飛んだりしないようにマンションでは十分注意してください。

ゴーヤの実は、約2か月で収穫できるようになります。熟して黄色になる前に収穫しましょう。結実してから2~3週間ぐらいが食べごろです。

種をとるときは、よく熟した実の種のまわりの赤いゼリー状のものを洗い流し、風通しのいい場所で陰干し乾燥させてから、ビンや紙袋に入れて冷暗所で保管します。



実施日: 月 日( )  
天気: 気温:  
コメント:



## 8 片付け(10月頃~)

10月になり涼しくなってきたら、葉も黄色くなってきます。ネットから枯葉やツルを取り除きましょう。ネットも外して、翌年、また使えるようにしまっておきましょう。

